

SAGA ART FAIR 2025 について

1.佐賀でアートフェア?

東京や福岡など、大都市ではアートフェアと呼ばれる大規模なアートの展示販売会が開催されています。

佐賀でもアーティストの作品が多くの人目に入り、アーティストにとって良い循環がうまれる機会をつくりたい。

そう思ったのが SAGA ART FAIR 開催のきっかけです。

2.佐賀のアート現況

佐賀県内では高校や短大、大学において芸術(アート)教育が盛んであり、優れたアーティストが輩出されています。

しかし、アーティストを生み出す教育機関がありながら、活躍できる環境(制作・展示・表現できる場所や販売する機会)が少ないため、アーティストの多くが県外へ活躍の場を求めていく傾向にあるようです。

そのような佐賀の環境は、県民が身近でアートを楽しむ意識 ーアート作品に「触れる・見る・所有する」などー が広がらない要因とも考えられ、それは県外へのアピール度の低下にもつながり、佐賀での個展に県外からの来場者やコレクターの来訪が少ないということにもなっているのではないかと考えています。

3.EDAUMEとアート

今回SAGA ART FAIRの会場となるEDAUMEでは、2022年にGallery NOMAを開業以来、佐賀在住はもちろん佐賀出身で県外において活動するアーティストや佐賀大学の学生など多くのアーティストたちが展覧会を開催してくれました。

またその展覧会の様子をSNSで発信し続けていると、県外や外国の人たちが注目してくれるようになってきました。

展覧会を開催してくれた多くのアーティストたちと触れあう中で、“もっと多くの人達に自分の作品を見てもらいたい” “できれば買ってもらいたい” という声も聞きました。

また、来場者の皆さんからも、“もっとたくさんのアート作品を見てみたい” という嬉しい要望も頂いています。

4.SAGA ART FAIR 2025 開催と展望

SAGA ART FAIRは、最初から大都市でおこなわれているようなアートフェアの規模やカタチを望んでいません。

佐賀には佐賀の良さがあります。

第一回目となる今回は、まずこれまでEDAUMEで展覧会を開催してくれたアーティストの作品を中心にSAGA ART FAIR 2025を開催いたします。

そして、地域の人達だけでなく、アートを求めている皆さんが佐賀で作品にふれる機会になることを目指します。

まずはスタートすること。

「サガでアートフェアはじまる」

SAGA ART FAIR 実行委員会

武廣 正純



Web site



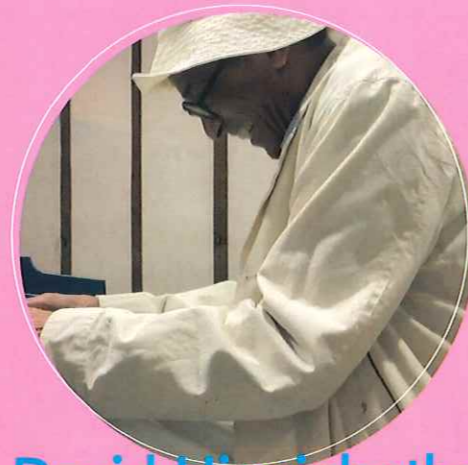
Instagram



X

主催 SAGA ART FAIR 実行委員会

協力 佐賀県アーツコミッション NPO法人 まちの根太 株式会社とっぺん



David Higginbotham

デイヴィッド・ヒギンボサム (アメリカ)

アーティスト

1951年生まれ、ニューヨーク在住。コンセプチュアルアートの要素を取り入れつつ、多様な表現方法で観る者に問いを投げかける作品を展開。ニューヨークで多くの展覧会に参加しており、ミクストメディア、インスタレーションで社会的なメッセージを発信し続ける。ソル・ルウィットのアートワークに参加。



Hao Jingfang

ジンファン・ハオ (フランス)

アーティスト

山東省生まれ。デュオアーティストHao Jingfang & Lingjie WANGとして活動している。2007年に上海海事大学で工学学士号を取得後、フランスのロレーヌ高等美術学校で美術修士号とDNSEPのディプロマを取得。現在はミルーズ(フランス)と上海に在住。2人のアーティストの創作は、自然と私たちの知覚の微妙な変化に焦点を当て、インスタレーションや映像などを主なメディアとしている。物質科学と工学の原理を用いることで、作品は認識、感情、自然の関心の探求を提示し、絡み合う合理性と感性の形而上学的考察を伝える。芸術と工学という2つの専門的背景が、物質世界と精神世界の究極的な共通性の探求を効果的に促進している。

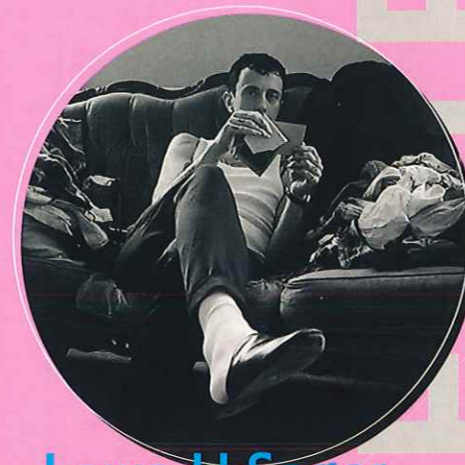


Satoshi Hoshi

星 智 (ドイツ)

アーティスト

ベルリン在住。星は、多層的な絵画技法で具体的なオブジェクトを通して、抽象的なビジョンを表現している。彼は日本の伝統的な花柄や抽象的な色をさまざまな方法で組み合わせ、モチーフに新しい意味を付与している。現在は抽象的なアイデアに関連する写真を撮影し、絵画の素材を集中的に探求する事で、写真の印象と、自分のビジョンが融合させることで、細部が明確になり、それを表現するため準備を整える。全ての準備が整い、モチベーションがピークを迎えた時、彼はそこで始めて筆を手を取る。彼曰く「筆を握る前に全ては完結している」と言うことであり、ビジョンそのものも大切であるが、それを表現したという意志の力が何より重要なのである。



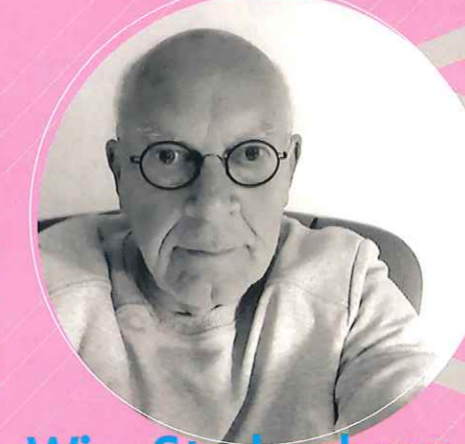
Lowe H Seger

ルヴェ H シーガー (イギリス)

写真家

ルヴェ H シーガーはロンドンを拠点とするスウェーデン人写真家、ディレクター兼教育者。アーティストとしては、主にアナログ写真と映像、言葉を媒体として表現を行う。2019年からロンドン芸術大学ロンドン・カレッジ・オブ・ファッションの写真学部の准講師として勤務し、定期的に講義、ワークショップ、チュートリアルやセミナーを行うほか、東ロンドンでコミュニティ型写真スタジオ兼暗室「Studio Nihilities」を運営。近年は、デジタルテクノロジーの発展と人間的価値観の関連性について探索している。

Instagram @lowe_h_seger



Wim Starkenburg

ヴィム シュタルケンブルグ (オランダ)

アーティスト

- 1976-1977 ミネルバ・アカデミー フローニンゲン
- 1979-1982 レーワルデン、ヴェレデマン・デ・フリース・アカデミー
- 1982-1984 ポスト・アカデミー、ヤン・ファン・エイク マーストリヒト
- 1984 ステデリック美術館 アムステルダム ソル・ルウィットによる壁面ドローイング展 (デイヴィッド・ヒギンボサム、ジョー・ワタナベ、アンソニー・サンソッタ)
- 1984-2016 ソル・ルウィットのマスター・アシスタントをヨーロッパとアメリカで務める。

※今回出展は全て平面作品となります。



SAGA ART FAIR 2025

日時

先行内覧会 ※招待者のみ
2025年3月13日(木) 10:00~18:00

一般公開

2025年3月14日(金) 10:00~18:00
2025年3月15日(土) 10:00~18:00
2025年3月16日(日) 10:00~18:00

会場 EDAUME 旧枝梅酒造

TEL 080-2722-6184
佐賀市八戸1丁目2-32

JR佐賀駅より
バス:約15分
(地蔵前バス下車、徒歩約3分)
車:約12分
自転車:約20分



SAGA ART FAIR

2025

2025.3.14 FRI → 16 SUN

入場無料

サガでアートフェア始まる!